

舵輪

八月五日総帆展帆

「八月五日総帆展帆」 猛暑の中、総帆展帆が行われました。適度な風の中で、スムーズに展帆作業を行うことができました。夏のイベントや家族の帰省などにより、参加人数は、展帆時六十五名、豊帆時五十四名と少なかつたですが、よく頑張りました。また帆船日本丸記念財団の展帆ボランティアの方々、直江津に入港していた日本丸から参加した方々など、多数の方が参加に協力してくれました。

展帆に参加されました皆様、どうもお疲れさまでした。この日の夜、新湊花火大会がありました。イルミネーションした海王丸のバツクで打ち上がる花火はとても美しいものです。来年チャンスのある方は、是非見に来てください。

「カッター帆走習熟訓練」

カッター（オールで漕ぐ六名乗りのボート）が導入されて、海洋洋室で有効に使っています。炎天下の中、海洋教室に参加した子供たちは、思うように動かない、重いオールに、四苦八苦しなからカッターの活動に取り組んでいます。

カッターは漕ぐだけでなく、マストを立てて2枚の帆を取り付けることにより帆走する事ができます。業務課職員は、八月六日艦装の確認や帆走習熟のため、帆走訓練を行いました。

高岡市の国分港まで行き、休憩を行った後、海王丸パークに戻る航海です。航海の出だしは風が無く、しばらく、漕いで艇を進めました。後に風が吹き始め帆走を行うことができました。艇は軽く、少々の風でもよく走ります。行きは心地よく帆走できました。帰りは途中で風が無くなり、漕いで帰ることになりました。しかしこの帆走訓練で貴重な体験を数多く得ることができました。

「海王丸の夜間公開」

八月中の一時期、夜間公開が行われました。夜空の中に輝く海王丸の姿に惹か

れ、船を見学される方が多くいました。今年の夜間公開の入場者数は六百四名でした。

「海洋教室」の状況

今年の海洋教室を行った団体は八月現在、二十九団体です。七月から八月にかけて、児童クラブや県外の団体が多く参加し、海のことを学び帰っていきました。海洋教室に参加された方々には、海のことを多く学び、将来、海や船についての理解を深めていくことを願っています。

「小杉高校の勤労体験学習」

八月二十七日、二十九日にかけて小杉高校の学生十名が、海王丸で勤労体験を行いました。今回導入されたカッターのオールの手入れ、ニス塗りなどを中心に、作業を行いました。また、作業以外に、カッターを漕ぐ訓練や、マスト登りなどの体験を行いました。

短い期間ではありましたが、海王丸で多くのことを学んだと思います。参加された十名の皆さんお疲れさまでした。

「九月二日総帆展帆」

秋を感じさせる爽やかな天気の中、今年七回目の総帆展帆が行われました。幸運なことに、今年はまだ雨で総帆展帆が中止になる日がありません。今年十回予定されている総帆展帆が全て行われることを祈っています。

「ウエルデッキ工事始まる」

海王丸ウエルデッキの木甲板劣化のため、九月に工事を行うことになりました。工事は九月三日から行っています。木甲板を剥がしてその下にある鋼板の甲板の錆落としや作業及び補修、錆止め塗装、その他細かい作業を行った後にミヤンマー産のチーク材を張り替える作業です。作業は九月下旬頃まで行われます。

九月九日木甲板張り替え工事見学会が行われ、見学者の方に木甲板の構造や、船の甲板上の工夫などの説明を行いました。ボランティアの方は、工事期間中、見学に来てください。知られざる、船の構造の一部を発見する事ができると思います。

「今年最後の新規ボランティア養成」 九月十五、十六日に今年最後の新規ボランティア養成訓練が行われます。参加予定者は四名です。また紹介する機会があると思います。皆様暖かく見守ってください。

SPIRING THE MAIN BRACE

「シーシャンティについて」

シーシャンティ (Sea-Synty) 、あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、往年の帆船時代、船乗り達は帆をあげたり、作業をするとき歌を口ずさみながら作業をしていました。

たとえばキャブスタンシャンティやウインドラスシャンティ等がありますが、これらは錨を巻き上げる時に歌われ、港に長期停泊し、いよいよ出港となつてその錨を巻き上げる時に歌われたわけです。錨が船に近づいてくるとテンポの遅い歌を歌い、真下に近づくとシャンティは止まり海底に食い込んでいる錨の爪を引き起こすために最後の力を振り絞る訳です。

このほかに重いハリヤードなどを引張る際には勇壮な調子のシャンティが歌われました。また、ポンプで水を汲み上げる際には、ポンピングシャンティなど、その作業に応じた歌が歌われていました。

数年前「White-Squall (白い嵐)」という映画が上映されましたが、その中でも一場面(初めての航海でセイルを揚げるシーンだった)と思いますが、訓練生がシャンティを歌いながらロープを引いていましたね。

日本の練習船でも「サニ公節」や「タンツィー節」などに代表されるようなシャンティ(船歌)がいくつかあります。その一つ「タンツィー節」の一節及び譜面を紹介しましょう。(本歌は十一番まであります。)

タンツィー節

一、ボビーの夢の揺籃の静べきベツトに結ぶとき

目玉ランプの物凄く
辺り構わず怒鳴り込む

二、タンツィー掛かれの号令に
ガシヤガシヤサードに追いやられ
七つのお鐘が鳴るまでは
プープデツキを這い回る

三、七つのお鐘はまだおるか
八つのお鐘が鳴るまでは
八つのお鐘が鳴るまでは
プープデツキを這い回る

皆さんも是非「海王丸」シーシャンティでも作つてはいかがでしょうか。また興味のある方は船内の書棚に「日本の海の歌」という本がありますので、どうぞご覧下さい。(熊田)

特別寄稿

舵輪

「万葉線募金協力の感謝について」

96 藤井 睦子

募金協力どうもありがとうございました。現在、万葉線存続のため広く募金の協力を願っている所です。

万葉線は新湊市や高岡市の住民の福祉・環境の向上、地域経済や都市の発展に果たす社会的、公共的機能や魅力ある町づくりには欠かせない貴重な都市施設であると思います。今後の万葉線発展のため、皆様の暖かい支援や協力をお願いしたいと思います。

募金のご協力どうもありがとうございました。

十月五日イベント

「総帆展帆」

十一月で今年最後の総帆展帆になります。今年の総帆展帆も残り僅かとなりました。皆様の参加をお待ちしています。

日付 十月 七日(日)
十月二十一日(日)
十一月 四日(日)

時間 受付 九時開始(研修室)
打合わせ 十時開始(海王丸)

場所 日本海交流センター研修室前

十一月分については、返信葉書で参加の是非をお願いします。

「十四歳の挑戦」

新湊市内中学校二年生による「社会に学ぶ十四歳の挑戦」が、十月十日から十六日まで行われます。海王丸でも参加者が予定されています。船上での作業を中心に体験する予定です。

「海王丸二世」寄港

新湊市市政五十周年の今年、海王丸二世が伏木富山港に寄港します。海王丸二世の予定等は左の通りです。海王丸二世

で行われるイベントなどを見に来てください。

停泊期間 十月十八日～十月二十二日

停泊場所 伏木富山港 北岸壁
(昨年と同じ岸壁に停泊します)

停泊期間イベント

十月十八日 十時 海王丸入港
入港歓迎式

十月二十日 十三時から十六時
セールドリル(帆を広げます)

十月二十一日 船内一般公開

十月二十二日 十三時・出港式
十四時・出港

海王丸入港に際し、当財団のカッターを使用して入港歓迎を行いたいと思えます。つきましては、カッターでの歓迎希望者は、参加の是非及びカッター訓練の希望日を返信用葉書に記入して下さい。歓迎のためのカッター訓練は左記の通りです。

日時 十月 八日 午後一時から四時
十月十四日 午後一時から四時
(時間注意)

場所 海王丸乗船口前

(注意事項)
・訓練を二回行います。両日参加をする必要はありません。
・カッターによる歓迎は、訓練に参加した方のみとします。

「アンペンディングセイル」

十一月の最後の総帆展帆が終わった後に行われる、セイルを下ろす作業、アンペンディングセイルの日がやってきます。セイルを片づけるには数多くの方々の力が必要です。一人でも多くの方のご協力をお願いします。予定については左の通りです。

日付 十一月 五日
十一月 六日

時刻 展帆時刻と違います。注意
してください。

受付 八時
打合わせ 八時三十分
作業開始 九時

集合場所 海王丸第一教室

天候の都合により日時を変更する場合があります。変更の場合、参加予定者に連絡をします。

「海王丸休館日」について

十一月 五日から船体整備期間に入ります。この間海王丸の乗船見学はできません。この整備作業期間中どのような作業を行っているのか見に来てください。公開の開始は、十一月一日からです。

「ボランテアの集い」について

平成十三年度第二回目の「ボランテアの集い」は十一月一日に富山自遊館(昨年度冬と同じ会場です。)で行うことになりました。出欠の葉書、受付時刻等詳しいことは今回の「舵輪」に掲載します。

新ボランテア誕生

新しく入りました二名のボランテアを紹介いたします。宜しくお願いします。

(氏名)
中村 勝 さん
岸和田 篤 さん

九月に訓練を行ったボランテアは次回「舵輪」で紹介いたします。

展帆予定

日時	名称	気象	参加人数	ヤード
八月 五日	総帆展帆	晴れ	六十八	スターボードタック・スクエアヤー

九月 二日 総帆展帆 晴れ 七十二
スターボードタック・スクエアヤー

案内

「新アポロキャップ」の販売について

四月五月頃新アポロキャップの販売予定を説明しました。このアポロキャップを、海王丸の土産販売店「ルミナス」さんで販売する事になりました。価格は一個二千円です。(消費税別価格です。)

デザインはローマ字で「海王丸」のロゴが入りその下に船尾の唐草模様をイメージした模様が入っています。作業用、コレクションなどにかがでしようか。

「ボランテア活動推進富山県民会議会長表彰」を玉井文次さんが受彰

富山県には、多年にわたりボランテア活動の実践を通じ、社会貢献をしている団体及び個人に表彰される「ボランテア活動推進富山県民会議会長表彰」があります。今回、総帆展帆を一回も休まず参加されている玉井文次さんが、この表彰を受けることになりました。おめでとございます。

あとかき

暑い夏が過ぎ、秋が訪れようとしています。「富山の夏は暑い」と聞いていましたが、本当に暑かったです。海王丸絵画コンクールのため夏休み終わりから土、日曜日に絵を描く親子が、数多く見受けられます。複雑なマストやヤードを苦勞して描いている子供達を見ると、小さい頃、必死で姫路城を描いていた自分を思い出します。芸術の秋、この秋に童心に帰って絵の一枚でも描こうかという気がする今日この頃です。